

＜開催のご案内＞

ソニー教育財団「ソニー子ども科学教育プログラム」
科学が好きな子どもを育てる教育実践論文 全国172の小・中学校より選ばれた「最優秀校」

**研究成果を発表する「子ども科学教育研究全国大会」開催
11月22日(金) 岐阜市立陽南中学校(岐阜県)**

記念講演：品川区立八潮学園校長(義務教育学校) 山口 晃弘氏
後 援：文部科学省、岐阜県教育委員会、岐阜県小中学校長会 他

公益財団法人 ソニー教育財団(会長 盛田 昌夫)は、2018年度、「ソニー子ども科学教育プログラム」の教育助成論文で「最優秀校」に選ばれた岐阜市立陽南中学校(岐阜県、校長:松村 敏幸)にて、優れた教育実践を公開・発信する「子ども科学教育研究全国大会」を開催します。

「ソニー子ども科学教育プログラム」の論文は、1959年にソニー創業者の井深大が始めた教育助成活動です。「科学が好きな子どもを育てる」を主題に、小学校・中学校の理科や生活科の実践と、その考察に基づく計画を募集しています。2018年度は、全国から172校よりご応募をいただきました。

今回、「全国大会」を行う陽南中学校は、本プログラムの審査委員長である御手洗 康氏(元文部科学事務次官)ら6氏による審査や、現地調査を経て、「最優秀校」を受賞しました。子どもたちの「豊かな感性」と「創造性」そして、「主体性」を育む取り組みや成果について、公開授業、研究発表などを通じ、全国の先生、教育関係者のみなさまに広くご紹介します。



子ども科学教育研究全国大会(公開授業・研究発表) 開催概要

岐阜市立陽南中学校(岐阜県)

研究主題： 自然の事物・現象に進んで関わり、自己の学びをつなぐ生徒の育成

開催日時： 2019年11月22日(金) 9:00~16:15

会場： 岐阜市立陽南中学校
岐阜市六条東1丁目1番1号 Tel:058-274-0055

時程：

【開会行事・研究発表】	9:00 ~ 9:30
【公開授業Ⅰ】	9:45 ~ 10:35
【公開授業Ⅱ】	10:50 ~ 11:40
【自治活動公開・合唱】	11:50 ~ 12:10
【ポスターセッション】	13:15 ~ 14:00
【授業研究会(理科)】	14:10 ~ 14:50
【記念講演】	15:00 ~ 16:00

記念講演： 品川区立八潮学園校長(義務教育学校) 山口 晃弘氏
演題「新しい授業の創造に向けて 学習指導要領の変遷から見通すこれからの理科教育」

参加費： 無料

※ 開催についての詳細は、陽南中学校のホームページをご覧ください。学校に直接お問い合わせください。
<http://cms.gifu-gif.ed.jp/younan-j/modules/wordpress0/index.php>

ソニー教育財団「ソニー子ども科学教育プログラム」教育助成論文 最優秀校

岐阜市立陽南中学校（岐阜県）

自然の事物・現象に進んで関わり、自己の学びをつなぐ生徒の育成
論文全文（http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/result/pdf/2018_sci_yonan.pdf）

【審査講評(抜粋)】

地域の研究実践校としての使命感を持ち、研究テーマ「自立した学びを実現する生徒」に全校体制で取り組まれています。理科を柱とする「科学が好きな子ども」を育成する取り組みが、学校全体の研究テーマの中に位置づいて、他教科の学習指導と一体となって授業改善が図られていることは、全校の組織的な実践として評価します。「科学が好きな子ども」の育成は、理科の授業を柱とした取り組みではありませんが、理科以外の教科の学習活動で培われる資質能力とも大きくかかわります。そうした考えに基づいて、理科の学習指導では、「科学が好きな子ども」の感性・創造性・主体性を育成する観点から、単元構成や授業の場面での導入・展開・終末の各段階の手立てを具体化して、生徒一人一人の確かな学びを実現する学習指導が展開されています。

■「ソニー子ども科学教育プログラム」教育助成論文 とは

「科学が好きな子どもを育てる」を主題に、理科や生活科を中心とした教育の「実践」と「計画」を募集しています。毎年、約200の全国の小学校・中学校から、学校での取り組みを論文にまとめてご応募いただきます。元文部科学事務次官の御手洗 康氏を審査委員長に、各界の専門家が実践、考察・評価、次年度計画について審査します。予備審査・中間審査を経て、「最優秀校」など上位の入選候補校に関しては現地調査も行います。「最優秀校」は翌年、計画の実践とともに、全国の教育現場でその成果を共有できるよう、「子ども科学教育研究全国大会」を開催。主題に迫る取り組みの積極的な発信にご協力いただきます。詳しくは、ホームページをご覧ください：<http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/index.html>

■ソニー教育財団について

ソニーの創業者である井深 大は、戦後間もない日本において、科学技術の振興こそが国の発展に繋がると考え、次世代を担う子どもたちへの理科教育に多大な関心を抱いていました。日本初のトランジスタラジオを発売し、会社経営が軌道に乗り始めたのを機に、1959年「ソニー小学校理科教育振興資金」の贈呈を始めました。ソニーの教育助成活動の始まりです。

この事業を継続的に発展させるため、1972年に「財団法人 ソニー教育振興財団」を設立しました。その後、井深 大の理念を引き継いだ教育助成活動は対象を中学校にも拡げ、子どもたちの感性・創造性・主体性の育成を目指した「ソニー子ども科学教育プログラム」へと発展。50年以上もの間、創造的で先進的な取り組みを行う全国の学校、先生方を支援してきました。

一方で、井深 大の関心は幼児教育にも広がり、1969年に「財団法人 幼児開発協会」を設立しました。幼児期の豊かな感性と創造性の育成を目指し、2002年から幼稚園・保育所・認定こども園を対象にした「ソニー幼児教育支援プログラム」を開始しました。2011年に「公益財団法人 ソニー教育財団」となり、幼児期から中学生までの「科学する心」を育むこと、「科学が好きな子ども」を育てることを柱にした教育助成を行っています。

教育助成の他、“自然に学ぶ”をテーマに探究する小・中学生対象の「科学の泉ー子ども夢教室」、親子の絆を育む『「科学する心」を見つけようフォトコンテスト」など、未来を生きる子どもたちへのさまざまな支援活動を行っています。



ソニー創業者 井深大

<報道関係の問い合わせ先>

公益財団法人 ソニー教育財団 東京都品川区北品川 4-2-1

TEL:03-3442-1005 FAX:03-3442-1035 (担当 山下)

公式ホームページ: <http://www.sony-ef.or.jp/>